

【Microsoft 365】Copilot 更新情報｜2026年9月

2026年10月30日

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第1版	2026年10月30日	初版発行

本書の内容は 2026/10/30 時点のものです。製品のアップデートにより変更となる場合がある旨、ご了承ください。

Agenda

1. 前提情報
    1. 本書の目的
    2. 用語集
2. 更新情報
    1. 今月のアップデートテーマ
3. ユーザー向け機能：Copilot プラットフォームの進化
    1. Copilot Chatの新しいデザインと機能
    2. Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQ の機能強化
4. ユーザー向け機能：Microsoft 365 アプリの Copilot 強化
    1. Microsoft Teams Phone の AI エージェント
    2. Copilot in Word の引用と画像変更機能
    3. Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ
    4. Copilot in SharePoint の一般提供開始
    5. Copilot in OneDrive の一般提供開始
5. IT 管理者向け機能：管理・ガバナンス機能の強化
    1. Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQの機能強化（3.2 より一部抜粋）
    2. Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ（4.3 より一部抜粋）
    3. Microsoft 365 管理センターでの情報源の管理
    4. Copilot ダッシュボードのパルス調査



1. 前提情報

1.1. 本書の目的

目的

本書は、Microsoft から 2026 年 9 月に公開された Microsoft 365 Copilot（以降、Copilot）の新機能および機能強化の内容を整理し、その概要と利用価値を理解することを目的としています。併せて、ユーザー向け機能と IT 管理者向け機能の観点から変更点を確認し、各機能の活用方法や運用上の考慮事項を把握することで、Microsoft 365 Copilot の更なる活用促進と業務生産性向上の実現を目指します。

注意事項

Copilot の新機能は段階的に展開されるため、本資料に記載している機能が環境によっては利用できない場合があります。
※参考：Microsoft 365 Copilot のリリース ノート

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
1	Microsoft 365 Copilot	Microsoft 365 のアプリで、情報の検索や資料作成などの業務を支援する AI。
2	Copilot Chat	Microsoft が提供する生成AIを活用した対話型アシスタント。
3	プロンプト	Copilot に入力する質問や作業指示文。エージェントやスキルも組み込み可能。
4	エージェント	特定の業務を支援する AI。
5	コネクタ	外部サービスの業務データや業界知識を Copilot に連携する仕組み。
6	プラグイン	ベースとなるソフトウェアに組み込むことで、新しい機能や拡張機能を追加するプログラム。
7	Work IQ	エージェントが組織およびビジネスデータ、コンテキスト、ツールにアクセスして推論できるようにするワークプレイスインテリジェンスレイヤー。
8	SharePoint Framework	SharePoint や Microsoft Teams のモダン UI 上で動作する、カスタム Web パーツや機能拡張を開発するための公式クライアントサイド開発フレームワーク。
9	Frontier	一般提供（GA）される前の実験段階にある最新の AI 機能や Copilot のエージェント、プレビューアプリを先行して試せるプログラム。
10	Copilot エクスペリエンス	Microsoft が提供する AI アシスタント機能を、Windows、Office、Web、各種ビジネスアプリなどの操作画面やワークフローの中に組み込み、利用者に提供する一連の環境や体験のこと。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
11	Teams Phone Agent	Microsoft Teams の音声機能（自動応答）をAIで高度化し、自然な会話で発信者への対応やルーティングを行う機能。
12	ブランドキット	資料のデザインルールをまとめた設定。PowerPoint 用のスキルも組み込める。
13	スキル	繰り返し行う作業を再利用できる機能。
14	メタデータ	データの中身を探したり管理したりしやすくするために付けられた、「データに関するデータ（付帯情報）」のこと。
15	Copilot Search	AI を活用して社内データや Web 上の情報を横断的・自然言語で検索できる機能やサービスの総称。
16	Microsoft 365 管理センター	企業や組織で利用する Microsoft 365 のユーザーアカウント、ライセンス、セキュリティ設定、各種クラウドサービスを一元管理するためのWebポータルサイト。
17	Microsoft プラグイン レジストリ	承認済みプラグインの検出・公開・管理を一元化する統合カタログ。
18	マニフェスト	エージェント、スキル等の構成・メタデータを定義する設定ファイル。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
19	Copilot ダッシュボード	組織内における Microsoft 365 Copilot や AI エージェントの導入状況、活用度、および投資対効果（ROI）を可視化・分析するためのツール。
20	パルス調査	従業員のモチベーション、エンゲージメント、心身のコンディションなどをリアルタイムに把握するため、短い質問を週次や月次といった高頻度で繰り返し行う組織調査のこと。
21	コンテンツインテリジェンス	人工知能（AI）や機械学習（ML）を活用して、デジタルコンテンツの作成、管理、分析、最適化を行う技術およびその仕組みのこと。



2. 更新情報

2.1. 今月のアップデートテーマ

本書は、こちらの記事を参考にアップデート内容をまとめております。

Microsoft 365 Copilot アップデート

Copilot プラットフォームの進化、Microsoft 365 アプリの Copilot 強化、管理・ガバナンス機能の強化

1 Copilot プラットフォームの進化

- Copilot Chatの新しいデザインと機能
- Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQ の機能強化

2 Microsoft 365 アプリの Copilot 強化

- Microsoft Teams Phone の AI エージェント
- Copilot in Word の引用と画像変更機能
- Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ
- Copilot in SharePoint の一般提供開始
- Copilot in OneDrive の一般提供開始

3 管理・ガバナンス機能の強化

- Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQの機能強化（3.2 より一部抜粋）
- Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ（4.3 より一部抜粋）
- Microsoft 365 管理センターでの情報源の管理
- Copilot ダッシュボードのパルス調査



3. ユーザー向け機能：
Copilot プラットフォームの進化

3.1. Copilot Chat の新しいデザインと機能

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Chat の新しいデザインと機能」についてまとめています。

NEW Teams と Outlook の Copilot デザインが刷新

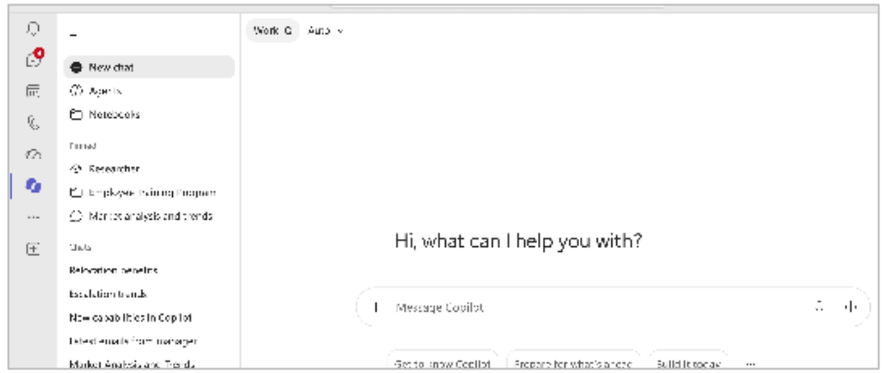
Teams と Outlook の Copilot エクスペリエンスが Copilot アプリ全体のデザインに合わせて刷新されました。

実際の画面

Outlook



Teams



NEW Edge の Copilot タブがアップグレード

検索、チャット、 Web 探索が 1 つの検索ボックスに統一されます。



リリーススケジュール

この機能は 2026 年 10 月にリリース予定です。

3.1. Copilot Chat の新しいデザインと機能

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Chat の新しいデザインと機能」についてまとめています。

NEW プロンプト内にエージェントやスキルを組み込み可能に

ユーザーは、Copilot のプロンプト内でエージェントやスキルを組み込めるようになりました。

機能 以下の方法にて、エージェントやスキルの組み込みが可能

- ✓ Copilot Chat のメッセージボックスにて 「@」「/」 のコマンドでプロンプト内に直接エージェントやスキルを追加
- ✓ Copilot Chat のメッセージボックスの [+] メニューよりエージェントやスキルを追加

NEW 読み取った PDF ファイルを検索する精度の向上

Copilot Chat では、アップロードされた PDF に対する検索・照合精度が向上しました。

メリット

- アップロードした PDF ファイル内の情報を迅速に探すことが可能
- ファイル一つ一つを手動で確認する作業の削減が可能

リリーススケジュール

この機能は 2026 年 9 月から利用可能になりました。
※弊社検証環境では未確認

3.1. Copilot Chat の新しいデザインと機能

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Chat の新しいデザインと機能」についてまとめています。

NEW **Android 版 Word、PowerPoint、Excel に Copilot 機能が追加**

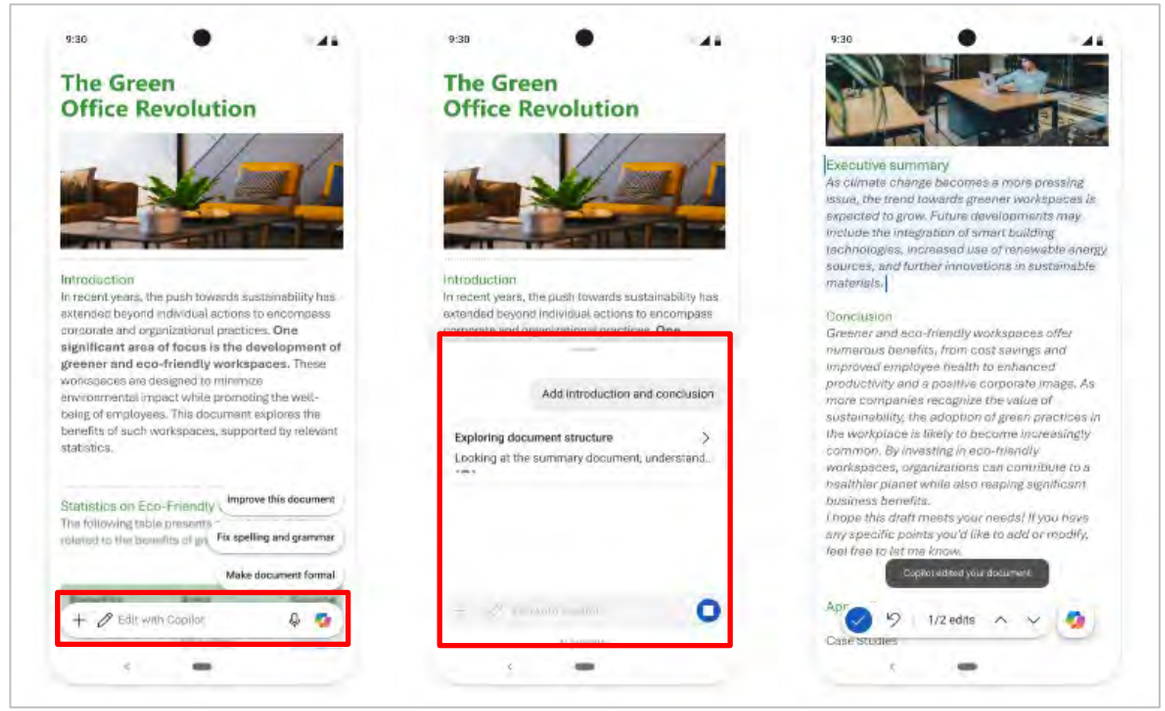
Android 版 Word、PowerPoint、Excel に Copilot 機能が追加され、ユーザーは作業場所を問わずCopilotを使って変更を加えることができます。

利用シーン

- PC を開けない場所や PC が手元にない場合
- 移動中に資料の最終チェックを Copilot に依頼したい場合

リリーススケジュール

2026 年初めに iOS 版、同年 9 月に Android 版がリリースされました。



3.2. Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQ の機能強化

本ページでは、「Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQ の機能強化」についてまとめています。

NEW **新たなコネクタ、プラグイン、エージェントとの連携が可能に**

新しいコネクタ、プラグイン、エージェントにより、関連するビジネスデータと業界知識を日々のワークフローに取り込むことで、ユーザーは Copilot からより多くの価値を引き出すことができます。

金融サービス

- Fiscal AI
- D&B Risk Analytics
- D&B Finance Analytics
- Zacks
- MT Newswires
- PrivCo
- S&P Global Kensho
- Square
- Morningstar Credit Analytics

専門サービス・ビジネスサービス

- askpolly

エネルギー・資源

- Rystad Energy

産業・製造業

- Autodesk
- Resilinc
- Vista Finance（ Trimble社提供 ）

3.2. Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQ の機能強化

本ページでは、「Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQ の機能強化」についてまとめています。

NEW **新たなコネクタ、プラグイン、エージェントとの連携が可能に**

新しいコネクタ、プラグイン、エージェントにより、関連するビジネスデータと業界知識を日々のワークフローに取り込むことで、ユーザーはCopilotからより多くの価値を引き出すことができます。

ヘルスケア・ライフサイエンス

- AMASS
- Cortellis Regulatory Intelligence
- SciLeads
- Causaly
- BioRender
- ClinicalTrials.gov
- PubMed
- PopHive
- bioRxiv
- DrugBank
- CAS
- Open Targets
- NPI Registry
- MedlinePlus

人材サービス

- TechWolf Analyst Agent

ソフトウェア・テクノロジー

- Webflow

小売・消費財

- NielsenIQ
- Cloudinary
- Contentsquare

3.2. Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQ の機能強化

本ページでは、「Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQ の機能強化」についてまとめています。

NEW **Copilot Chat での SharePoint Framework アプリの操作が可能に**

SharePoint Framework で作成したアプリの画面や操作機能を、Copilot Chat 内に直接表示して利用できるようになりました。

機能 **ユーザーは Copilot との会話を継続しながら以下のことが実行可能**

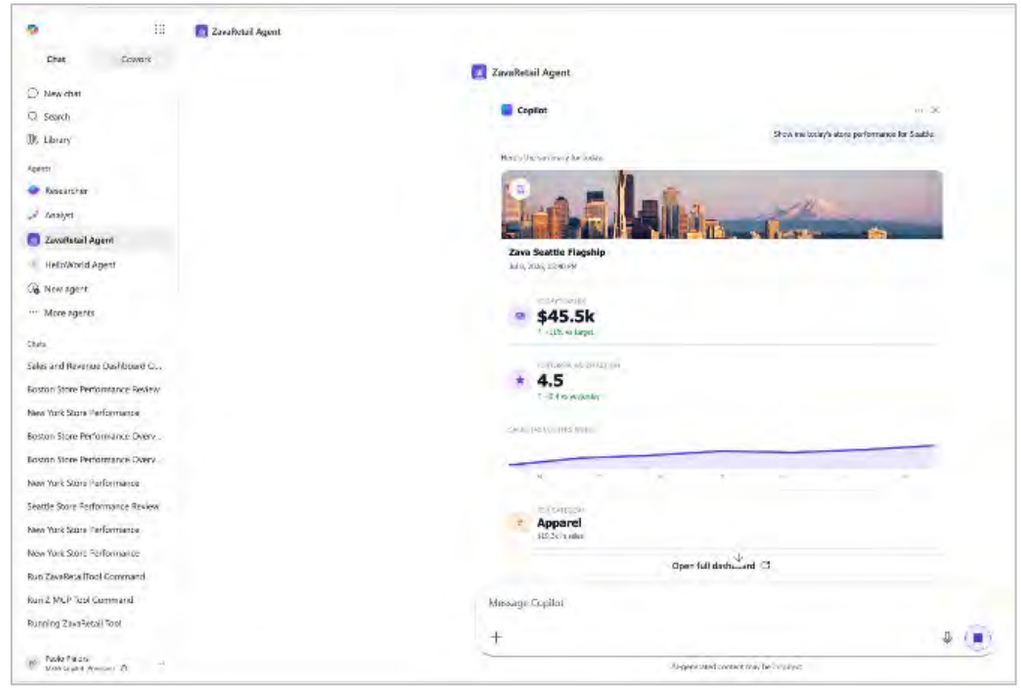
- 情報の表示
- コントロールの操作
- アクションの実行

メリット

- 情報の確認から操作までを Copilot 内で完結
- 専用インフラが不要なため、導入・運用コストを節約

リリーススケジュール

2026 年 9 月から Frontier で利用可能になりました。



詳しくは[こちら]

3.2. Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQ の機能強化

本ページでは、「Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQ の機能強化」についてまとめています。

NEW Work IQ で SharePoint のコンテンツとアクションツールが利用可能に

Work IQ は SharePoint のコンテンツを参照し、該当コンテンツに対してアクションを実行できるようになります。

利用シーン

- 申請・タスクを SharePoint 内のリストに反映したい場合
- 問い合わせに対し、SharePoint 内の資料を参照し回答を得たい場合
- Copilot の処理結果を基に、コンテンツを更新したい場合

リリーススケジュール

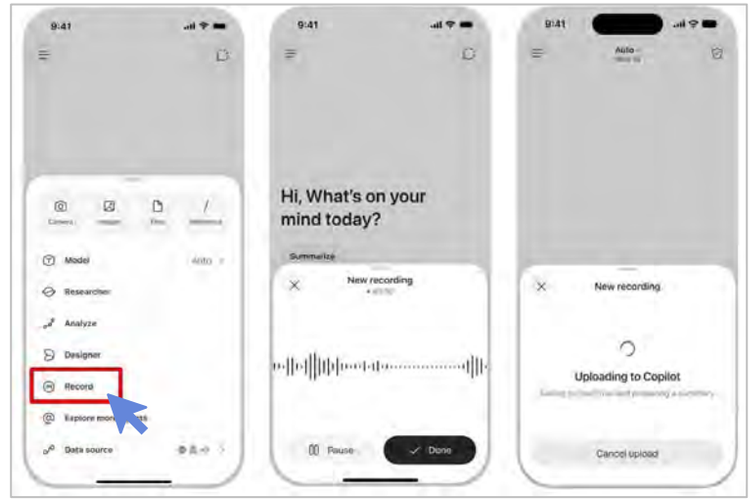
2026 年 9 月から Frontier で利用可能になりました。

NEW Microsoft Copilot モバイルアプリの Record 機能が利用可能に

ユーザーは外出先で対面での会話や音声メモを録音し、活用可能なコンテンツに変換できます。

流れ

1. 対面での会議、外出先での会話で [Record] を開始
2. Copilot が音声を文字起こし、要約





4. ユーザー向け機能：

Microsoft 365 アプリの Copilot 強化

4.1. Microsoft Teams Phone の AI エージェント

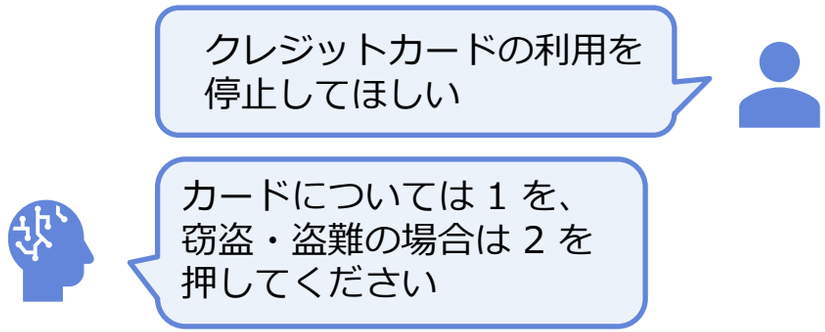
本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Microsoft Teams Phone の AI エージェント」についてまとめています。

NEW **AI 搭載の電話受付サービス「Teams Phone Agent」の一般提供が開始**

AI 搭載の電話受付サービス「Teams Phone Agent」は、AI が生成した通話内容の要約に基づき、適切な対応や担当者への振り分けを行います。

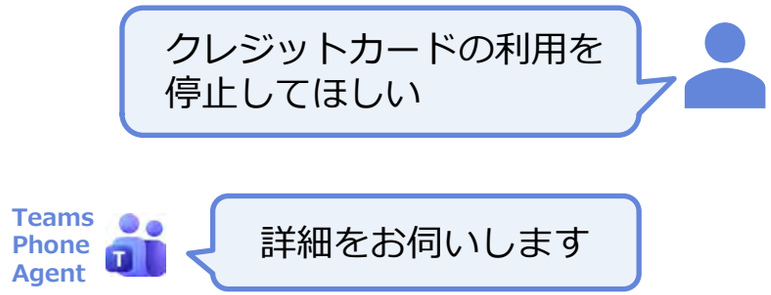
従来の Teams 自動応答

お客様の選択に合わせて担当部署へ



Teams Phone Agent を活用

AI が会話を通じて用件を把握し、必要に応じて適切な担当部署へルーティング



利用シーン

- 予約の受付やキャンセル対応
- スパム電話を検出
- 休日の入電対応

詳しくは[こちら]

4.2. Copilot in Word の引用と画像変更機能

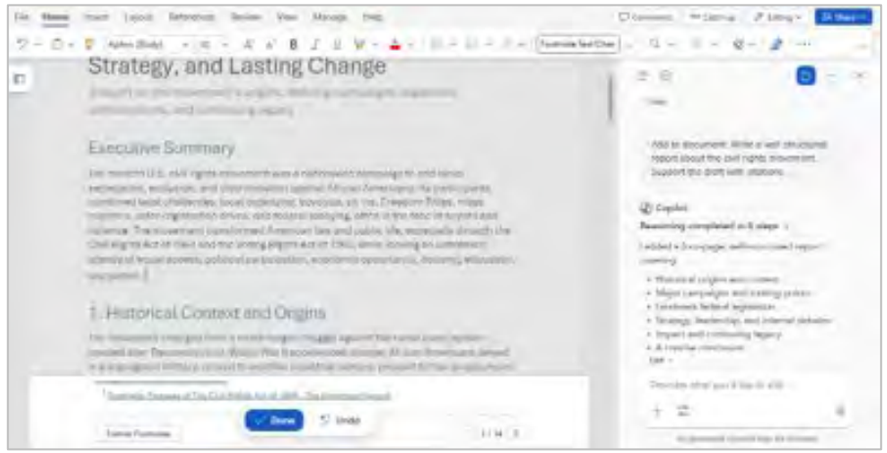
本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Word の引用と画像変更機能」についてまとめています。

NEW Copilot の回答に引用情報を追加可能に

Copilot は、生成した回答の根拠となる Web サイトや業務コンテンツなどの情報源を引用付きで表示できます。

流れ

1. Copilot に「出典情報を記載した、 ○○に関するドキュメントを作成して」と指示を出す
2. Copilot が指示に合ったドキュメントを作成し、出典情報を追記する

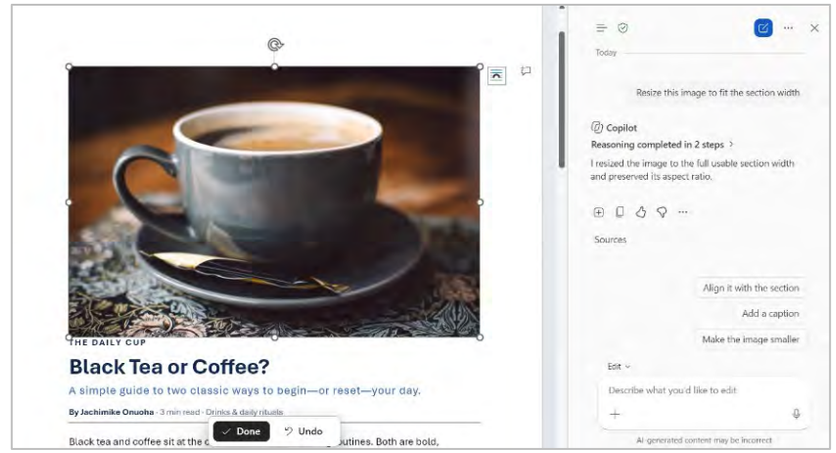


NEW 文書内の画像や図形をCopilot が配置・編集可能に

Copilot に画像や図形の配置、編集を指示することで、より洗練されたレイアウト、ドキュメントを作成できるようになりました。

流れ

1. Copilot に「選択している画像のサイズを本文に合う形に編集してほしい」と指示を出す
2. Copilot が選択画像を確認し、画像のサイズを編集する



4.3. Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ」についてまとめています。

NEW **Copilot in PowerPoint の組み込みスキル**

ユーザーは組み込まれているスキルを利用することで、詳細なプロンプトや一からワークフローを作成することなく、Copilot にプレゼンテーションのレビューやブラッシュアップの指示出しを行うことができます。

組み込みスキルとは

・・・ワンクリックで使用可能なテンプレート化されたデフォルトのスキル。

機能

現在、使用可能な組み込みスキル例

- プレゼンテーションのレビュー
- プレゼンテーションの内容から予測される質問を出力
- スライドのタイトルをブラッシュアップ

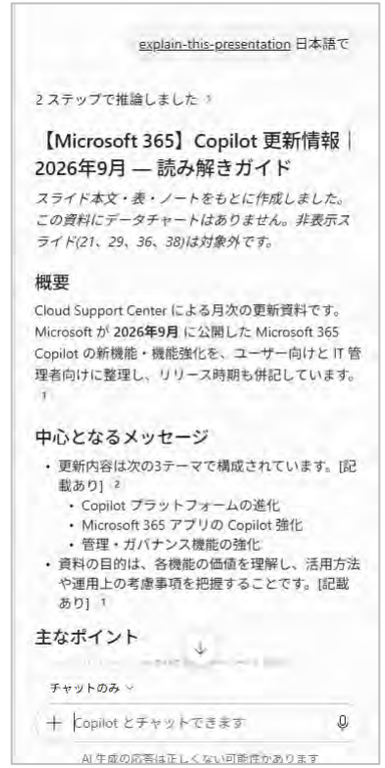


流れ

1. PowerPoint 内の Copilot Chat にて [+] マークを選択し、[このプレゼンテーションを説明する] を選択

   ※選択したスキルによってはCopilot からの質問がある

2. Copilot がプレゼンテーション全体の概要を詳細にまとめ、出力する



詳しくは[こちら]

4.3. Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ」についてまとめています。

NEW **ブランドキットにスキルを組み込み可能に**

使用頻度の高いスキルをブランドキット内に組み込むことで、ブランドや業務プロセスに一貫したプレゼンテーションを作成できます。

流れ

1. PowerPoint 内の Copilot Chatを開く
2. 「+」から「ブランドを選択」を選択する
3. 「ブランドキットの作成」をクリックし、ブランドキットの作成ページを開く
4. ブランドキットの作成ページにてスキルを設定する



リリーススケジュール

この機能は 2026 年 10 月にリリース予定です。

詳しくは[こちら]

4.4. Copilot in SharePoint の一般提供開始

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in SharePoint の一般提供開始」についてまとめています。

NEW **Copilot in SharePoint の一般提供が開始**

Copilot in SharePoint の一般提供が開始され、SharePoint サイトやドキュメントライブラリ上で高度な AI 機能を直接利用できるようになりました。

機能 **コンテンツの整理・理解から、実用的な知識への変換までを AI で支援**

- SharePoint上のファイルやページへの質問、回答・要約の生成
- 古いページやリンク切れの検出、改善提案
- ファイル内容に基づく列の作成や文書の分類・整理
- 自然言語によるページ作成、ルールやワークフローの作成

メリット

- 情報を探して一つずつ読む負担を減らせます。
- SharePointの情報を最新の状態に保つ作業の負担を減らせます。
- 文書の整理・検索・管理をしやすくします。
- SharePointのサイトやページなどを簡単に作成できます。
- 繰り返し業務を自動化しやすくなります。

詳しくは[こちら]

4.5. Copilot in OneDrive の一般提供開始

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in OneDrive の一般提供開始」についてまとめています。

NEW Copilot in OneDrive の一般提供が開始

Copilot in OneDrive は、Copilot in SharePoint と同様の基盤で再構築されました。

機能 より一貫性のある操作を提供

コンテンツの作成　情報の整理　ファイルの操作

利用シーン

自分のファイルから必要な情報をすばやく把握する

「このフォルダーにある資料から、A社との契約内容と注意点をまとめて」

複数の資料を整理して新しい資料の作成につなげる

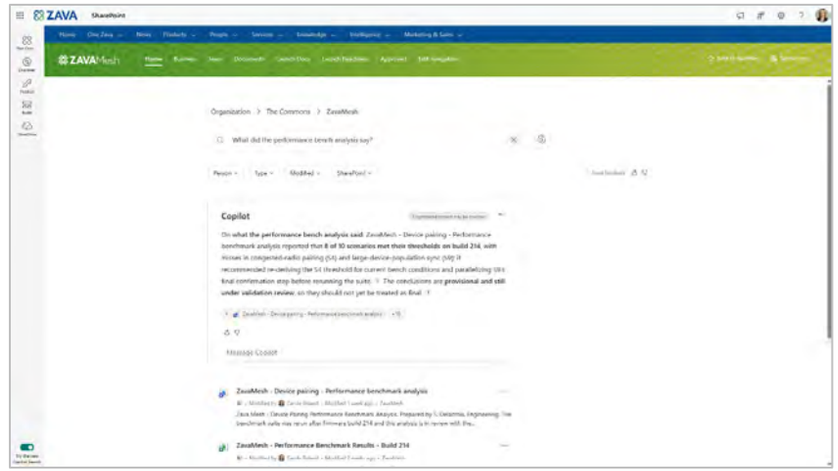
「このプロジェクトの提案書と議事録をもとに、進捗報告の下書きを作成して」

詳しくは[こちら]

NEW SharePoint と OneDrive の既定の検索機能が Copilot Search に

SharePoint と OneDrive 全体で Copilot Search が既定の検索機能となり、自然言語を使用した質問や指示出し、検索ができるようになりました。

実際の画面



リリーススケジュール

2026 年 9 月から Frontier で利用可能になりました。



5.　IT 管理者向け機能：管理・ガバナンス機能の強化

5.1. Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQの機能強化
（3.2 より一部抜粋）

本ページでは、「Copilot アプリへのプラグイン、コネクタ、Work IQの機能強化（3.2 より一部抜粋）」についてまとめています。

NEW **プラグインの一元管理と展開が可能に**

プラグインは、スキル・コネクタ・エージェントなどをまとめたパッケージです。レジストリを通じて、組織で承認したプラグインの検出・公開・管理を一元化します。

機能

ユーザー

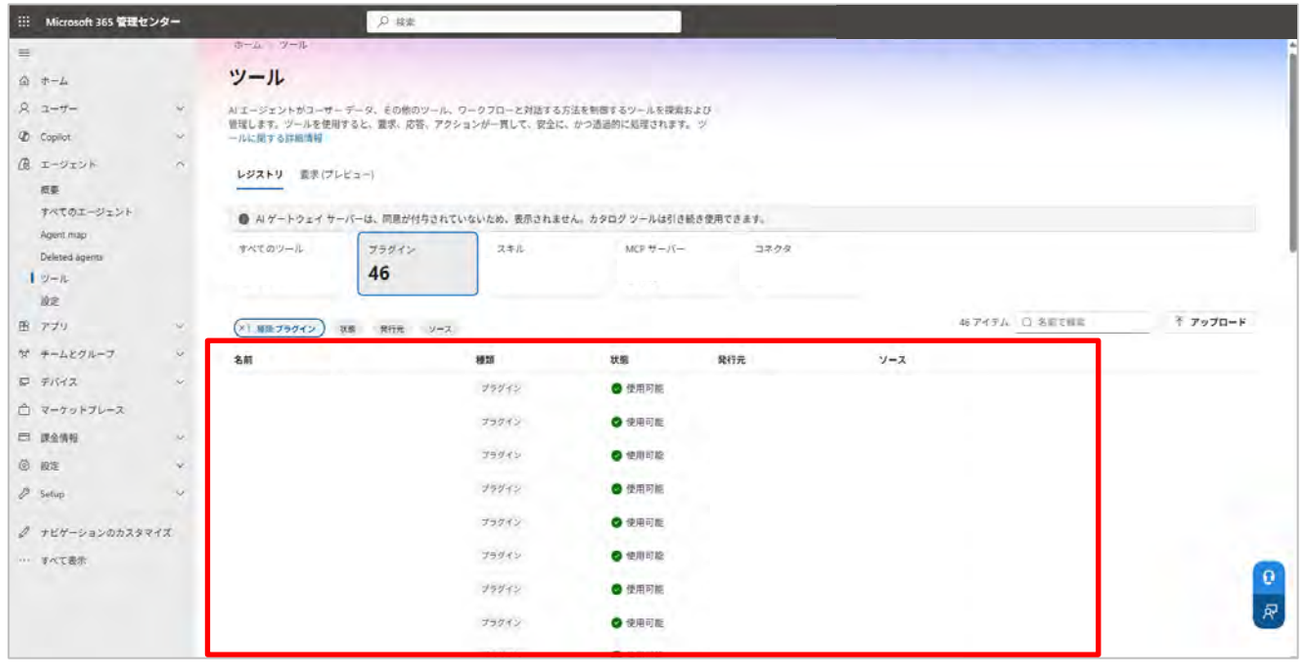
- ✓ プラグインメニューから有効なプラグインを検索・利用
- ✓ 承認済みの業務データやアクションにアプリからアクセス

開発者・パートナー

- ✓ スキル・コネクタ・エージェントをまとめて公開
- ✓ 組織のシステムや業務に合わせたプラグインを作成

IT 管理者

- ✓ プラグインの承認や割り当て
- ✓ Microsoft 365 管理センターよりユーザーがアクセスできるプラグインを一元的に管理



詳しくはこちら

5.2. Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ
（4.3 より一部抜粋）

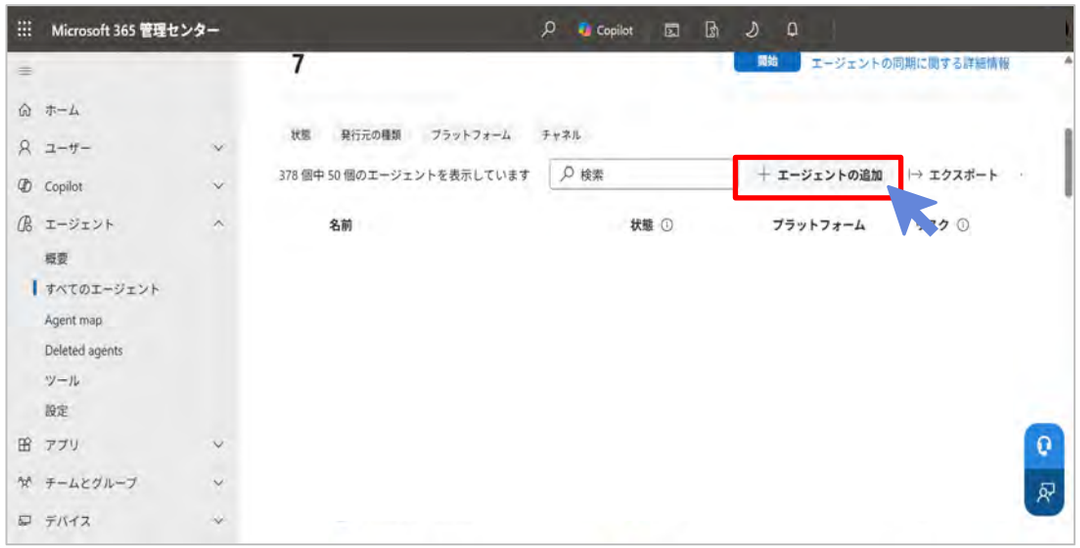
本ページでは、IT 管理者向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ（4.3 より一部抜粋）」についてまとめています。

NEW **管理者は承認済みのスキルをユーザー・グループ・組織全体に公開可能に**

管理者は承認済みのスキルをユーザー・グループ・組織全体に公開可能になったことで、各ユーザーが組織の統一テンプレートを作成・アップロードする必要がなくなりました。

流れ 1/2

1. Microsoft 365 管理センターにサインインし、 [エージェント]>[すべてのエージェント] >[エージェントの追加] を選択



2. [ファイルを選択] にて、スキルファイル（.zip） をアップロード



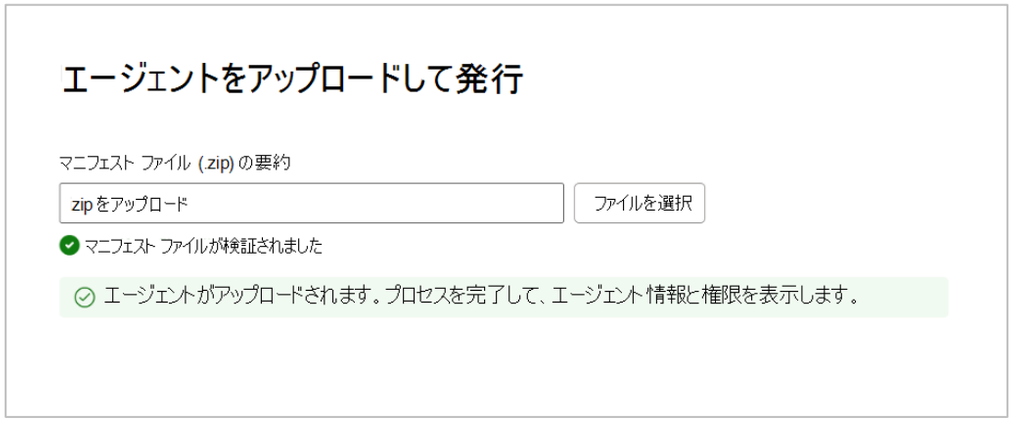
5.2. Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ
（4.3 より一部抜粋）

本ページでは、IT 管理者向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ（4.3 より一部抜粋）」についてまとめています。

流れ 2/2

3 検証の結果を確認
※検証失敗の場合、パッケージ構造・マニフェストを修正し、再度アップロード





4 スキルを使用できるユーザー、グループを選択し、使用可能な展開オプションを構成して、公開フローを完了



5.2. Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ
（4.3 より一部抜粋）

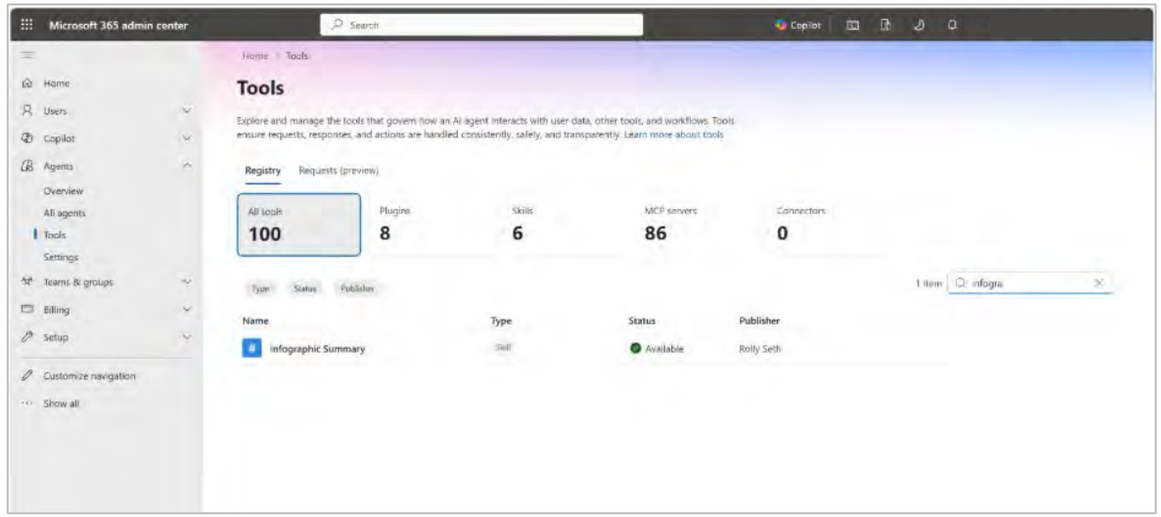
本ページでは、IT 管理者向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のスキルとコネクタ（4.3 より一部抜粋）」についてまとめています。

NEW **管理者は承認済みのスキルをユーザー・グループ・組織全体に公開可能に**

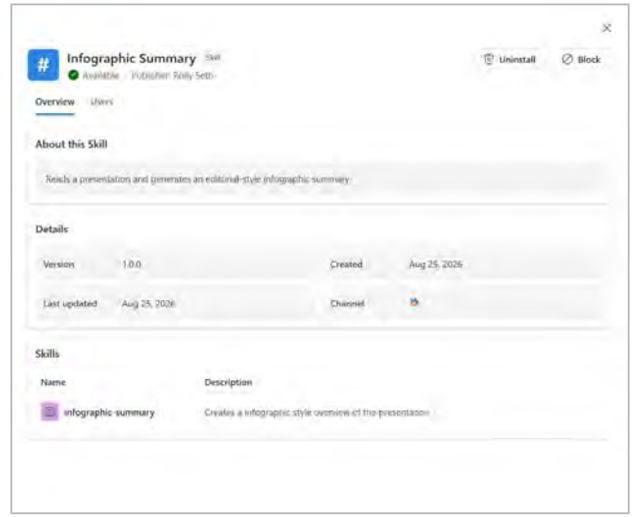
管理者は承認済みのスキルをユーザー・グループ・組織全体に公開可能になったことで、各ユーザーが組織の統一テンプレートを作成・アップロードする必要がなくなりました。

流れ

1 Microsoft 365 管理センターにサインインし、
[エージェント]>[ツール] に移動し、スキルを選択



2 スキルの概要を確認



5.3. Microsoft 365 管理センターでの情報源の管理

本ページでは、IT 管理者向け機能の更新である「Microsoft 365 管理センターでの情報源の管理」についてまとめています。

NEW **管理者は、Microsoft 365 管理センターにて Copilot Search の信頼できるソースを管理可能に**

Microsoft 365 管理センターにて、最大 100 個の SharePoint サイトを信頼できるソースとして設定することで、Copilot SearchやChat の検索結果の信頼性・関連性を向上させることができます。

流れ

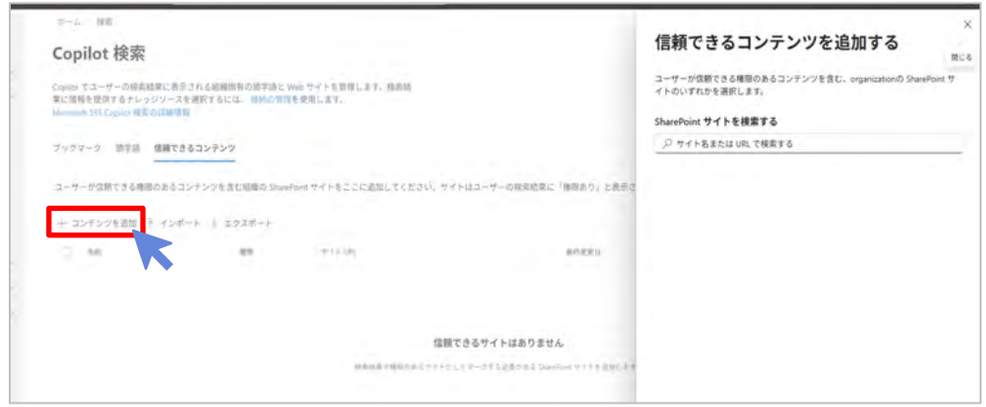
1. Microsoft 365 管理センターにて [Copilot]タブから、[検索]を選択



2. [信頼できるコンテンツ]を選択



3. [コンテンツを追加]を選択し、信頼できるソースとして使用する SharePoint サイトを追加



5.4. Copilot ダッシュボードのパルス調査

本ページでは、IT 管理者向け機能の更新である「Copilot ダッシュボードのパルス調査」についてまとめています。

NEW **パルス調査を開始し、Copilot の導入状況と影響を把握可能に**

Copilot の利用データをもとに対象者を自動で絞り込み、パルス調査を実施できます。導入状況と従業員からの意見を組み合わせて導入効果を分析でき、結果は個々のユーザーではなく集計された母集団レベルで表示されるため、プライバシーにも配慮されています。

流れ

1. Insights の [Copilot ダッシュボード] を選択し、[Microsoft 365 Copilot の導入に関するアンケートを開始する] を選択



2. テンプレートを確認し、 [次へ] を選択



3. 共有する特定のユーザー、グループまたは組織を選択し、[パルスの送信] からアンケートを共有

